



鶴望野 だより

2018年 第127号

発行元：社会医療法人長門英記念会 介護老人保健施設 鶴望野 〒876-0835 大分県佐伯市鶴岡町1丁目11番59号

謹賀新年



明けましておめでとうございます。
鶴望野の目まぐるしい毎日も静かな年の暮を平穩に過ごして、また新しい年を迎えました。

年、年、超高齢化社会を迎えつつある日本の現状にふさわしい様な多くの高齢者に向き合っている私たち鶴望野は、それなりに地域社会での高齢者の療養介護と福祉に取り組んでいます。

とりわけ近年、高齢者介護職員、看護職員の後継者不足や人材難が取り上げられるようになりましたが、私たちの施設ではこうした奉仕を特別の支障もなく、行う事が出来ました。

取って今年、私は高齢者の「介護」を「奉仕」として取り上げました。それは国の福祉のしくみが、近年かなり発達し色々な奉仕が行われていますが、「奉仕」とはギリシャ語の語源では「テイアノニア」と言うそうです。「テイア」とは何かを通じてという意味で「ノニア」とは人の排泄物の事だという事です。

つまり他人の排泄物を処理する事が真の「奉仕」と言える行為であるとギリシャの宗教的な教えにあるそうです。（曾野綾子著「夫の後始末より」）

私は朝から晩まで「高齢の入所者の下のお世話行っている若い職員と一緒に仕事をしておりますが、これは全く「目から鱗」のお話でした。

世間の崇高な「奉仕」が色々取り沙汰されますが、人間として、私達の日常の仕事程「これからの高齢化社会にとって、崇高な奉仕は無い」と気付きました。私達は誇りを持って、今年も頑張ります。何卒宜しくお願い致します。



平成三十年 元旦
介護老人保健施設 鶴望野
施設長 松下 哲一郎

家族交流会

平成29年11月23日鶴望野にて「鶴望野祭」、「家族交流会」が開

催されました。鶴望野祭では、丹深子供神楽の皆さんに来て頂き神楽を披露して頂きました。利用者、ご家族共にかわい子供達の神楽を見て楽しまれており、賑やかに楽しい鶴望野祭となりました。

そして、鶴望野祭が終わった後は家族交流会を行いました。家族交流会では多くの御家族様が参加され、当施設に対しての要望等意見を頂くことが出来ました。お忙しい中、参加頂きありがとうございました。

獅子舞



平成30年1月6日鶴望野にて獅子舞が行われました。獅子舞が人の頭を噛むことによつて、その人に付いた邪気を食べてくれるため、ご利用者全員に無病息災で元気に過ごせますよう祈りを込めて、頭を噛ませていただきました。



↑ 鶴望野神

もちつき



平成29年12月27日餅つきを行いました。もちつきは利用者、職員が協力して行い、無事におもちを作ることが出来、今年も無事に年を越す準備を行いました。鏡餅は、歳神様をお迎えして「今年一年が幸せでありますように」とお祈りするために準備するそうです。今年も皆様が一昨年幸せに過ごせるようにお祈りいたします。



お知らせ

・感染について

新年を迎え、大分県下でもインフルエンザが発生してきています。面会の際には、マスク等で予防頂くか、体調を崩している御家族様でありましたら、面会を極力控えて頂くようにご協力の程宜しくお願い致します。マスク等につきましては、玄関、2階、3階に常備しておりますので、ご利用ください。

行事予定

・ひな祭り

3月吉日



後編集

→新年明けまして、おめでとうございます。皆様はどのように正月を過ごされたでしょうか。私は、実家に帰りにゆっくと過ごしました。お正月といえはおせち料理ですが、なんと今年は伊勢海老が出てきてちょっぴり豪華な気持ちで食べさせて貰いました。伊勢海老は縁起物で厄除けや健康長寿に良いようなので、今年も健康に過ごしてしっかりと鶴望野だよりを発行していきます。 Y・Y